

アドラーズブルンに絶望が舞い降り、
ジェイミソン・ジャンケンシュタイン博士の
復讐劇が、町から光を奪い、人々に恐怖を
植え付けていた

すべての希望が失われたと思った
その時...彼らは現れた。闇を払い、
光を取り戻すために集いし四名の
英雄たち...

多くの血が流れた激闘の末、
ついに町から博士の笑い声が
消え、恐怖は去った

アドラーズブルンの城主に
博士を止めることはできなかった。
できるのは、助けを求めることのみ...

戦いの後、英雄たちは
こつ然と姿を消した

彼らの戦いは伝説と化す...しかし、
平和とは得てして儚いものである...

ジャンケンシュタイン博士は、
より強大なカー森の魔女に従う
駒に過ぎなかった

死ぬのなら、授けた力の代償を支払って
から...慈悲とはかけ離れた理由を基に、
魔女は禁断の魔術でジャンケンシュ
タイン博士を蘇らせた

死を経験してもなお、博士の
復讐心が薄れることはなかった。
それどころか、より強く、
より凶悪な軍勢を作ろうと
決意したのだ

城主の願いは風に乗り、かつての
戦友である伝説のグアイキング職人の
目に届いた

旧友を助けるため、
何よりも新たな敵、
新たな血を求め彼は
立ち上がった

次に立ち上がりしは霧に
覆われた湖に住む、暖かさも
冷たさも、喜びも悲しみも
感じないと言われている
伯爵夫人であった

彼女を突き動かす唯一のものは、
満たされることのない飢え。
ただし、それが今回の動機で
あったのかは、誰にも分からない

僧侶とその弟子である
剣士にも願いは届いた

両者がどのようにして出会い、なぜ共に旅をしているのか...
それはまた別の機会にお話ししよう。彼らとある声を
聞き、立ち上がったのだという。人知を超えた存在の声を...

偶然か否か...伝説の英雄たちと
同じ数の四名が、陸を越え、
海を越え集まった

魔女自身の力もさることながら、
彼女には死神と呼ばれる忠実な
しもべがいるほか、古の
ドラゴンの力を持つといわれる
召喚士を新たに従えていた

個々の思惑はさておき、
力を合わせなければ
魔女には勝てない

魔女と血の盟約を結んだしもべたちは、
生命とあらずアドラーズブルンをこの
世から消し去るまで戦い続けるであろう

終わりのなき悪夢が今、
始まろうとしている...